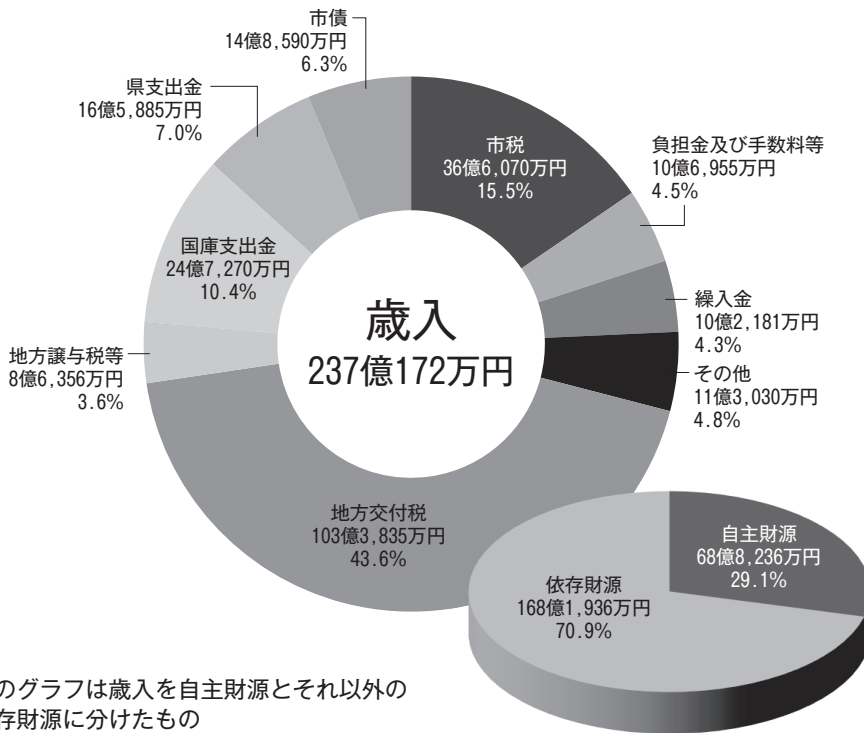


# 平成28年度

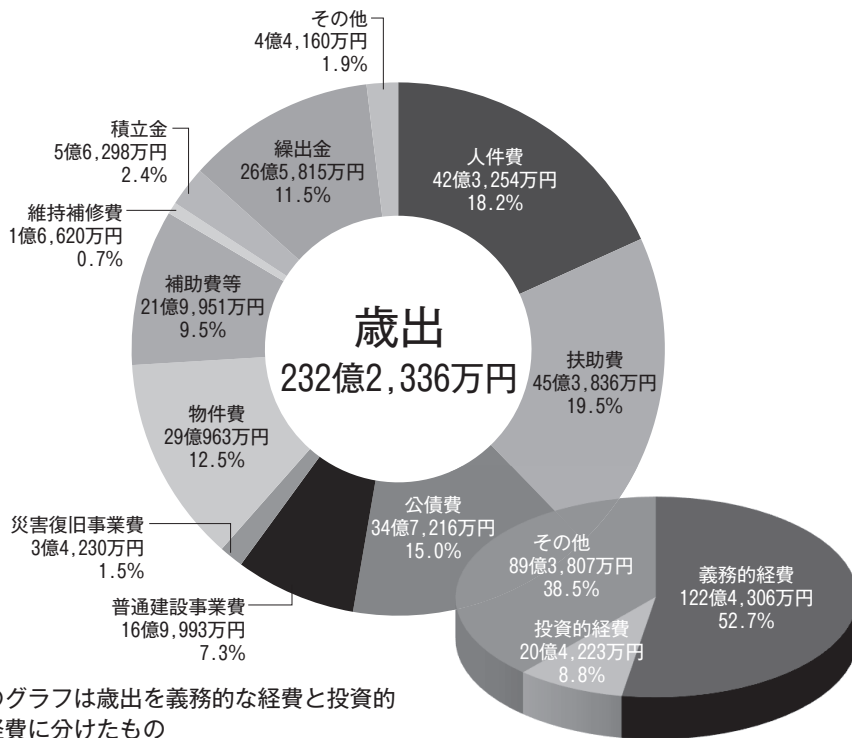
# 決算報告

## 一般・特別会計の概要

### 一般会計 歳入・歳出グラフ



右のグラフは歳入を自主財源とそれ以外の依存財源に分けたもの



右のグラフは歳出を義務的な経費と投資的な経費に分けたもの

#### 歳入

予算現額247億4482万円に対して調定額245億2754万円、収入済額は237億172万円。債権放棄である不納欠損額は3216万円、収入未済額は7億9366万円の決算となっております。

#### 歳出

収入率は予算比95・8%、調定比96・6%となりました。支出済額は232億2336万円、執行率は、93・9%となり、翌年度に繰り越した9億5886万円を差し引いた不用額は5億6260万円

#### 特別会計

10ある特別会計の歳入総額は137億1177万円、歳出総額135億3778万円。これらの差額である形式収支額は、1億7399万円。翌年度に繰り越す1030万円を除く、実質収支額は1億6369万円の黒字となりました。

#### 市債残高

一般会計における当年度末の市債残高は、前年度末より16億7526万円減少。特別会計分を合わせた市債残高は、前年度末より14億4637万円減少し、399億3556万円となりました。

詳細は大田市のホームページをご覧ください。

財政状況、財政健全化判断比率の詳細は、市のホームページでも公開しています。

問 財政課 (☎0854-83-8017)

財政方針 健全化 検索

# 決算の状況

(単位：万円)

		歳入	歳出	差し引き	市債残高	基金残高	
一般会計		237億172	232億2,336	4億7,836	315億7,846	77億3,090	
特別会計	国民健康保険事業	51億2,106	50億4,281	7,825	0	3億8,468	
	国民健康保険診療所事業	1,213	1,213	0	5,418	1,224	
	後期高齢者医療事業	10億8,882	10億7,990	892	0	-	
	介護保険事業	52億6,207	51億4,779	1億1,428	0	1億2,616	
	住宅新築資金等貸付事業	100	5,642	△5,542	0	-	
	生活排水処理事業	1億6,304	1億6,304	0	4億552	5,562	
	簡易給水施設事業	4億8,594	4億6,828	1,766	11億1,768	0	
	農業集落排水事業	6,935	6,935	0	4億5,040	-	
	大田市駅周辺土地区画整理事業	8,144	8,144	0	3億3,091	-	
	下水道事業	14億2,692	14億1,662	1,030	59億9,842	2億6,687	
特別会計合計		137億1,177	135億3,778	1億7,399	83億5,711	8億4,557	
企業会計	病院事業	収益的収支	42億4,080	43億9,033	△1億4,953	32億7,281	3億1,998
		資本的収支	7億9,553	9億1,785	△1億2,232		
	水道事業	収益的収支	11億1,509	10億2,389	9,120	56億7,996	4,151
		資本的収支	3億6,474	7億2,475	△3億6,001		

## 健全化判断比率 一指標すべてが健全化基準を下回っています

平成19年6月、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されました。地方公共団体は、4つの指標である「健全化判断比率」、公営企業の経営の健全化を判断する指標である「資金不足比率」を公表することが義務付けられました。

各比率は次のとおりで、監査委員の審査を受け、9月市議会に報告しました。

○早期健全化基準、財政再生基準、経営健全化基準を超えると…

それぞれに対応した計画を作成し総務大臣などに報告、自主的または国・県の関与のもとに財政健全化を行うことになります。

### ■実質赤字比率

普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模<sup>\*1</sup>に対する比率で、普通会計の赤字の程度を示しています。

早期健全化基準…12.86%  
財政再生基準……20.00%

大田市 —%<sup>\*2</sup>  
(赤字、資金不足なし)

### ■実質公債費比率

普通会計が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、市の借金の返済額の大きさの程度を示しています。

早期健全化基準…25.00%  
財政再生基準……35.00%

大田市 13.3%

### ■将来負担比率

普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、市が将来支払っていく負担額の大きさの程度を示しています。

早期健全化基準…350.00%

大田市 90.1%

### ■連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率で、市全体の赤字の程度を示しています。

早期健全化基準…17.86%  
財政再生基準……30.00%

大田市 —%<sup>\*2</sup>  
(赤字、資金不足なし)

### ■資金不足比率

公営企業における資金不足額の事業の規模に対する比率で、事業規模である料金収入に対する資金不足の程度を示しています。

経営健全化基準…20.00%

大田市 —%<sup>\*2</sup>  
(赤字、資金不足なし)

すべての指標で、早期健全化（経営健全化）基準内であり、財政状況は「健全」と言えます。しかし「指標が基準内にあること」＝「市の財政が豊か」というわけではありません。今後も、各指標を参考に、健全な財政運営に努めていきます。

※1 地方公共団体の標準的な状態で通常収入があるであろう経常的一般財源の規模を示すものです。  
※2 赤字、資金の不足が生じておらず、比率が算定されないため、「-」表示となります。